

# BIG BEN

- p1 日本クラブ周辺案内 (2)
- p2 写真探訪：インズ・オブ・コート
- p3 領事日より：「海外安全情報」
- p4-5 短信：日本人社会の動き
- p6 各種教室・講座案内
- p7 エッセー：汝の名はシャーロット
- p7 診療所：高木健医師紹介
- p8 新総領事は宇山秀樹氏

## 日本クラブ周辺案内 (2)

### 話題のパブやお洒落なカフェ

日本クラブの周辺は寂しく、クラブで行われる会合や催し物に出ても、その後で友人と食事したりお茶を飲んだりするところがないと思っている会員の方も多いと聞く。そこで「びっぐべん」編集部では日本クラブ周辺を探索し、話題のパブやお洒落なカフェやレストランがたくさんあることを発見した。

#### ◆有名なガストロパブや話題のパブ

地下鉄Southwark駅前からThe Cutを100メートルほど行くと右側にThe Anchor and Hope(地図①)というパブがある。一見何の変哲もない様なパブだが、ここはロンドンでも1、2位を争うガストロパブ(おいしい食事を出すレストランを兼ねている)だ。主に伝統的な英国料理でボリュームも多い。人気があり常に混雑しているが、予約は取らないので、満席になるとバーで飲みながら待つことになる。相席になることもある非常にカジュアルなレストランだ。

テムズ川に面したBanksideにThe Anchor(地図②)というパブがある。テートモダン・ギャラリーからグローブ座、クリンク(監獄)博物館、サザック・カセドラルと続くバンクサイドのプロムナードは観光客でいつもごった返しているが、その真ん中に位置するこのパブは1822年にはすでに存在したという記録が残っている歴史的なパブだ。良く晴れた日、川に張り出したテラスで一杯やるのは非常に気持ちが良い。

ロンドン・ブリッジ駅からBorough High Streetを少し行くと左側の奥まったところにThe George Inn(地図③)というパブがある。中世から続くコーチング・イン(馬車の発着点の宿)で、ギャラリーがあり、中庭ではシェーク



The George Inn

スピアの劇が演じられた。建物は歴史保存物に指定されており現在はナショナルトラストの所有になっている。部屋がいくつにも分かれており、各部屋で飲むことが出来る。昔の宿の寝室だった2階は現在レストランになっている。

#### ◆お洒落なカフェやバー

日本クラブに立ち寄った後、ちょっと友人とお話したい時には、クラブ周辺には静かなカフェがたくさんある。Tate Modern Gallery (地図④)の中にはスマートなカフェがあるし、クラブに程近いUnion StreetにあるJerwood Space Art Gallery(地図⑤)のカフェはモダンで清潔でいつも比較的空いており、話をするのには最適な場所である。

クラブの表通りSouthwark Street(地図⑥)にはチェーン店のコーヒーショップだけでなく、お洒落なカフェがたくさん集まっている。ここの近代的ビル群はオフィス街であり、そこで働く人のためのカフェやバー、レストランがたくさん揃っている。

サザック駅から日本クラブへ向かう途中にあるThe Blackfriars Wine Bar(80 Scoresby Street, London SE1

(2面へ続く)

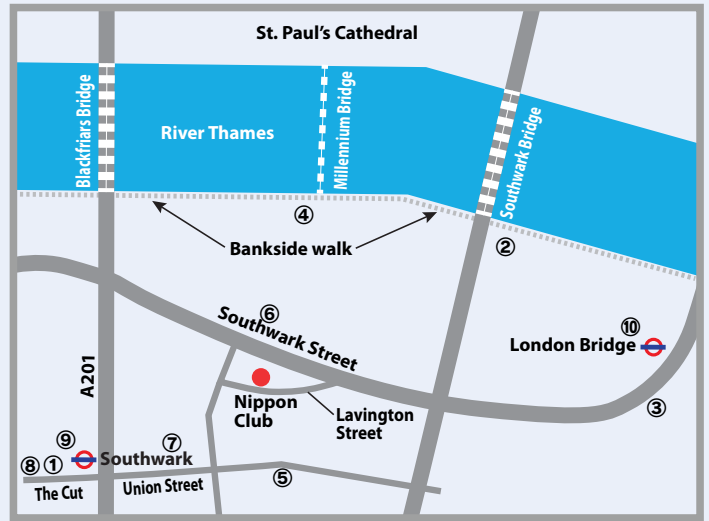
0XN)(地図⑦)は午前11時30分から夜の11時までオープンしており、ワインや食事だけでなく、コーヒーを飲むために立ち寄ることもできる。ここは日本クラブと提携しており、会員カードを提示すると10%の割引になる。

◆自分の好みのレストランを探す

日本クラブ周辺にはレストランもたくさんある。レストランは好みがあるので、自分の好みの店を是非見つけてもらいたいが、クラブ周辺でレストランが集まっている地区を紹介して見たいと思う。

前述のThe Anchor and HopeパブのあるThe Cut(地図⑧)には道なりに魚料理、インド料理、ケバブ、タバス等のレストランがたくさんある。Waterloo駅の周辺に近づくとレストランの数も増える。またSouthwark駅のすぐ裏側に当たる鉄道線路のガード下のIsabella Street(地図⑨)は、車の通らない緑の多い小路でタイ料理やトルコ料理の大きなレストランが並んでいる。昼間はコーヒーだけでも大丈夫な店もあるので、クラブの帰りに立ち寄るのも楽しい。

ロンドン・ブリッジ駅に近いBorough Market(地図⑩)周辺にもレストランがたくさん集まっている。バラード・マーケットは新鮮な野菜や果物、乳製品、パン、鮮魚類を売っている食糧品市場だが、その周辺のレストランもあらゆる種類の料理が集まっており、なかなかの人気だ。



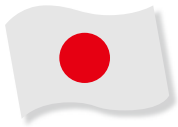
写真探訪 Around London

【Inns of Court (法曹院)】



地下鉄 temple 駅からテムズ川に沿ってブラックフライアーズ・ブリッジに向かって少し歩くと、左側に大きな鉄の門がある。中に入るとビクトリア・エンバークメントの喧騒から逃れて、静寂の世界が広がる。ここは王立高等裁判所を中心にロンドンに4つある法曹院 (Inns of Court) の中の一つの中・ミドル・テンプルだ。他の3つはインナー・テンプル、リンカーンズ・イン、グレイズ・インだ。イングランドとウェールズで活躍するバリスター (法廷弁護士) はこの4つの法曹院のどれかに属している。どの法曹院も歴史豊かな建物と庭園を持っており、庭の方は一般に公開されているので、散策するのも楽しい。肩まである独特の白いカツラを被ったバリスターが歩いている姿を目撃することもある。

(撮影：加藤節雄)



## 「渡航情報」から「海外安全情報」へ

皆様、夏休みの過ごし方はいかがでしたか？ 渡航先でトラブルなどに遭わなかったでしょうか？ 在英国大使館では紛失・盗難によるパスポートの申請が年間250件以上あります。ほとんどが日本からの旅行者ですが、中には欧州の在留邦人が申請してくることもあります。旅は、解放感、高揚感などがあり、日頃盗難に遭わないよう気をつけていても、ついつい油断してしまい、被害に遭うこともあります。皆様も旅行に出かけた際はアンテナを張って、遺失や盗難に遭わないようお気をつけ下さい。あまり気を張っていると折角の旅行が楽しめないかも知れませんが、盗難に遭って台無しになるよりは少々緊張していた方がよいと思います。

さて、外務省では9月1日から「渡航情報」（危険情報やスポット情報などの総称）の名称を「海外安全情報」に改称します。さらに、「危険情報」の危険の度合いの記述は、これまで

- ① 「十分注意してください。」
- ② 「渡航の是非を検討してください。」
- ③ 「渡航の延期をお勧めします。」
- ④ 「退避を勧告します。渡航は延期してください。」

という表現で注意喚起をしてきましたが、「渡航の是非を検討してください。」と「渡航の延期をお勧めします。」ではどちらが危険のレベルが高いのかわかりにくいとの指摘もあったため、これらをわかりやすく、直接的な表現に改めます。具体的には以下の通りです。

- ① 「十分注意してください。」  
⇒ 「レベル1：十分注意してください。」
- ② 「渡航の是非を検討してください。」  
⇒ 「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」
- ③ 「渡航の延期をお勧めします。」  
⇒ 「レベル3：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」
- ④ 「退避を勧告します。渡航は延期して下さい。」  
⇒ 「レベル4：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）。」

また、報道では触れられておりませんが、今回の改訂に伴い、ひっそりと削除される文があります。危険情報には次の「※」以下の3文の頭書きが記載されておりました。

※ 本情報は、海外に渡航・滞在される方が自分自身の判断で安全を確保するための参考情報です。本情報が発出されていないからといって、安全が保証されるというものではありません。

※ 本情報は、法令上の強制力をもって、個人の渡航や旅行会社による主催旅行を禁止したり、退避を命令するものでもありません。

※ 海外では「自分の身は自分で守る」との心構えをもって、渡航・滞在の目的に合わせた情報収集や安全対策に努めてください。

これはこれで意味があったのですが、行政的で言い訳がましく評判は今一つでした。「自分の身は自分で守る」という一文を曲げて解釈する方々もおりました。9月1日からこの危険情報の頭書きは削除されます。ただ、いつも大使館が申し上げているとおり、危険な場所に近づくかない、周囲に注意を払う、情報を収集するなどの自分自身が行う基本的安全対策が自分を危険から遠ざける最も有効な対策であることは変わりません。どこに行ってもその点を忘れないよう心がけてください。

その他の変更の内容は、[海外安全ホームページのこちらをご覧ください。](#)

[http://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/pdf/tokojoyoho.pdf](http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/pdf/tokojoyoho.pdf)

●スマートフォン向け「外務省海外安全アプリ」ができました。ダウンロードはこちらからどうぞ!!

[http://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/oshirase\\_kaian\\_app.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_kaian_app.html)

# 短 信

COMMUNITY PLAZA



## ハイパージャパン 8万人超の入場者

今回8回目になる現代日本文化の祭典「ハイパージャパン」は7月10日(木)から12日(日)の3日間、ロンドンのThe O2(ドーム)で開催された。テーマ別に3か所に分かれた会場には漫画、アニメ、ゲーム、音楽、ファッション、食、伝統文化といった総花的な日本文化が紹介され、主催者の発表では欧州人95%を含む86,000人の入場者があった。(写真①)

## 英議会で広島被爆者の声を聞く

7月16日(木)英議会(上院)委員会室と広島平和文化センターとをスカイプで結び、大スクリーンを見ながら広島の被爆者梶本淑子さん(84)から直接体験談を聞き、核兵器廃絶に関してディスカッションをするというユニークな試みが行われた。この

会を主催したのは上院議員のロード・レイアード・オブ・アーティガーバン議員で「話し合いをして理解を深めることが大切」と言うことでこの企画を立てた。英国側からは両院の議員やNGO関係者が出席した。(写真②は証言する梶本淑子さんと小溝泰義広島平和文化センター理事長)

## 福島「ほまれ酒造」酒チャンピオンに

7月16日(木)、第32回インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)の日本酒部門で福島県のほまれ酒造が今年の酒チャンピオンに選ばれた。今年の大会には日本酒876銘柄がエントリーされ、その中からほまれ酒造の「会津ほまれ・播州山田錦純米大吟醸」が選ばれた。また、同時に発表されたグレート・バリュー酒賞には山形県の月山酒造の「銀嶺月山本醸造」が選ばれた。(写真③中央はほまれ酒造の唐橋社長)

## ロンドン酒チャレンジ

酒ソムリエ協会による日本酒の品評会「第3回ロンドン酒チャレンジ」が8月24日(月)ハロツズ・デパートで開催された。酒チャレンジは世界中から集まった酒ソムリエが出品された日本酒をブラインド・テースティングにより、審査し、金・銀・銅の格付けをするもので、蔵元や飲食店にとっては顧客に薦める判断基準となる。

## UCLで「薩摩150」関連行事

今年は薩摩藩からの留学生19人がロンドンのUniversity College of London(UCL)に留学してから150年になるが、UCLでは150周年を記念して数々の記念行事が行われた。  
●150周年記念式典:7月23日(木):UCL学長、デイビッド・ウォーレン元駐日英国大使、加藤特命全権公使等を迎えて薩摩19を記念した式典を行った。

## 会員セミナー「スナップ写真の上達法」

今年2回目の会員サービス委員会主催セミナー「スナップ写真の上達法」が6月26日(金)日本クラブ大会議室で開催され大盛況だった。

講師はプロの写真家で、日本クラブ理事、「びつぐべん」編集長を務める加藤節雄氏で、まずカメラに関する基礎的技術から、スマホで撮影した写真は

物足りないという話に進み、続いて大スクリーンを使って、縦位置と横位置写真の違い、ワイドか望遠か、順光と逆光写真の使い分けといった、いろいろな撮影テクニックを実際のサンプル写真を使っての説明があった。

良い写真とは撮影者が何に興味を持って撮影したかということがはつき

りと分かる写真で、何でも撮り込んだ絵葉書写真は面白くないという話に、約50人集まった人たちは頷いたり、興味深く耳を傾けたりしていた。



# 短 信

COMMUNITY PLAZA



● UCL-Japan Young Challenge: 日本の高校生 50 名と英国の高校生 30 名による交流イベントを 7 月に 1 週間開催した。

● 社会起業家シンポジウム: 日英の学者や起業家によりこれから 150 年の社会を発展させていく新しいアントレプレナーの育成やその希望像についてのシンポジウムを開催した。

## 「傑作会」作品展

日本クラブサロンで教室を開いている絵画グループ「傑作会」(リサ・カートンさん主宰)がメンバーの作品展を開催する。(写真④ 裕子・フレンチさん作品)

● Kessaku-kai Exhibition  
Burgh House, New End Square,  
Hampstead, London NW3 1LT  
TEL: 020-7431-0144

9 月 9 日 (水) ~ 13 日 (日)  
12:00-17:00  
入場無料

## ジャパン祭り近付く 9 月 19 日 (土)

今年のジャパン祭りは 9 月 19 日 (土) トラファルガー広場で開催される。

## 日本庭園清掃作業 10 月 11 日 (日)

シェパーズ・ブッシュにあるハマースミス公園日本庭園(平和園)では毎年ボランティアによる清掃作業を行っているが、今年も 10 月 11 日 (日) に作業が行われる。日本クラブは毎年ボランティア協力や弁当や水を提供している。ボランティア希望者は事務局まで。(写真⑤は昨年の清掃作業)

● 勝村麻由子コンサート  
ロンドンをベースに活躍するバイオリ

ンの勝村麻由子さんがフィルハーモニア・オーケストラとロンドンのカドガンホールでコンサートを開く。今回はイギリス人作曲家ベンジャミン・エリンが歌舞伎、民謡、古事記、日本書紀等にインスピレーションを得て、日本文化を西洋音楽で表現するというコンセプトで書いた協奏曲「みやび」をイギリスのオーケストラと日本のバイオリニストの共演という形で世界初演する。(写真⑥)

● Philharmonia Orchestra (Mayuko Katsumura)  
9 月 3 日 (木) 7:30pm  
Cadogan Hall: 5 Sloan Terrace,  
London SW1X 9DQ  
TEL: 020-7730-4500  
www.cadoganhall.com  
入場料: £25, £20, £15, £10  
\* \* \*

## 福島庭園 3 周年記念、内堀知事が訪英

ロンドンのホーランドパークに震災を記念して福島庭園が出来てから今年で 3 年になるが、同庭園で 7 月 16 日 (木) 内堀雅雄福島県知事を迎えて 3 周年記念式典が開催された。



会場では知事を始め林駐英大使、福島県復興大使等がシダレザクラの記念植樹をした。(写真⑦)

同日、ロンドン大学 UCL の講堂では福島復興シンポジウムが開催され、内堀知事より福島の復興の現状とこれからの取り組みが報告され、福島県の高校生による学習成果の発表があった。(写真⑧)

続いて夜には英国会議事堂内のリバーラームで福島県主催のレセプ



ションが開かれた。

一連の行事の中で内堀知事は除染の進展や空間放射線量が減少していることを強調する一方、未だに人口の 5%にあたる 11 万人が避難生活を送っており、風評による農業や観光への影響も続いていると説明した。

## ロンドン生活を豊かにする教室・講座

日本クラブのクラブサロンにある貸会議室では会員の主催によるいろいろな教室や講座が開かれています。ロンドン滞在中にこういった教室に参加して、ロンドン生活を豊かにしてみたいかご存知でしょうか。(教室・講座の詳細は各主催者にお尋ねください)

●**オレンジ&レモンズ**：イギリス史のドラマを拾う  
☎01932-880810 (ハリス加津子)

●**ロンドン西洋美術史講座**：西洋美術の解説講座 (笹山美栄)  
lah.london@btinternet.com ☎07713-630004

●**ワイン教室**：ジャーニー紙でお馴染みのミヨコ・スティーブンソンによる初心者からプロまでの講座を準備  
wine.class@miyokostevenson.co.uk

●**EJEF日本語教師養成講座**：日本語教師の養成・トレーニングコース ☎01494-882091 (EJEF日本語部)

●**肩の凝らないオペラ入門講座**  
DVDを見ながら楽しくオペラを学びましょう  
yoko.kaku.fogarty@hotmail.com(フォガティー洋子)

●**英国式ホリスティック・アロマセラピー**  
アロマセラピーの楽しみ方を学ぶ  
mhhschool@gmail.com (ミキ)

●**植物画教室**：日本でも人気のヨーロッパ発祥の植物画  
botanicalart@gmail.com ☎07804-150739(端)

●**書道稽古会**：小筆で仮名文字を書く稽古  
yuki@yukikoayres.com (エアーズ由希子/恵杏壽昌鶴)

●**日本刺繍教室**：自分に合ったペースで刺繍を学べる  
midori.embroidery@gmail.com (松嶋みどり)

●**楽しいアートクラス(傑作会)**：初心者から歓迎。  
月1回アートを通しての自分を発見。  
lisakeikokirton@gmail.com (りさ)

●**チーズ講座**：ヨーロッパのチーズを楽しむ講座やイベント  
kanako@cultureandculture.com (マティス加奈子)  
※9月末よりチーズ講座基礎シリーズ開講

●**陶芸ワークショップ**：和食器制作を中心とした陶芸講座  
imahikoceramics@gmail.com (川村 今日子)

## 会員の皆様へお願い

- ★ 日本クラブは、2015年10月より新年度に入ります。
- ★ 今年、新たに英国の永住権をとられた方・永住者で60才になられた方

会員区分の変更を致しますので、9月15日までに永住権及び年令の証明書(コピー)を事務局まで提出してください。既に、変更をされている方は提出していただく必要はありません。インボイス発行後の変更はいたしませんのでご了承ください。

連絡先：m.konotsune@nipponclub.co.uk

- ★ 学生の方は改めて在学証明書を提出してください。
- ★ 新年度の更新を希望しない方は9月15日までに9月30日付の退会届をご提出ください。
- ★ 住所変更をされた方は、住所変更届をご提出ください。

## 2016年度会費請求のお知らせ(2015年10月～2016年9月)

個人会員には9月中旬に新年度年会費請求書を送らせて頂きますので、小切手(裏面に会員番号をご記入ください)及びデビット・クレジットカード(電話受付可)にてお支払いただきますようお願い致します。

また、法人会員正会員の方々には10月初旬に法人会社ごとにまとめて発行いたします。

会員種別	会員区分	入会単位	会費/年
法人会員	正会員	家族	£145
	駐在員	家族	£145
個人会員	一般	家族	£45
	永住者	家族	£25
	同上60歳以上	家族	£15
	学生	個人	£30



## 汝の名はシャーロット

イギリスの王室と日本の皇室は長年培ってきた絆で結ばれており、日本国民はイギリスに対して親近感を抱いている…とは思っていましたが、親近感以上のものを抱いていたことが、ある事件で判明しました。それは、日本の動物園で生まれたサルの名前を募集したところ、その前にウィリアム王子とケイト王妃の間に生まれた長女がシャーロットと名付けられたことが影響したのか、一番人気でシャーロットと決められたことです。いえ、事件はそこから出発したといえます。この動物園の決定に対して、「それはイギリスの王室に失礼ではないか」という意見が怒涛のごとく寄せられ、一時は撤回する騒ぎに発展しました。イギリスのマスコミでは、そのような騒ぎになっている日本が報道され、バッキンガム宮殿より「お構いなく」というお墨付きをいただき、ようやく元のシャーロットという名前で一件落ち着いたのです。

事件が落ち着くまで、街頭インタビューやら、霊長類研究者のコメント記事やらで、日本のマスコミは大忙しでした。その時に感じたのが、日英での名前、動物、王室や皇室に対する考え方の違いでした。日本ではひらがな、かたかな、漢字を組み合わせて名前を付けるので、英語よりずっと多くのバリエーションがある名前が可能です。先祖代々続く家系では同じ漢字を受け継いだり、偉人の名前の全部

あるいは一部を頂いて、名前をつけています。

英語ではそもそも流通している名前の種類が少ないので、留守番電話に“Hello, I am David.”で始まりメッセージが残っていたのですが、5人くらい考えられるデービッドのうちどのデービッドなのか判明するまで、しばらく時間がかかったほどです。ですから、同じ名前の人は、たぶんペットの名前、動物の名前でも相当数いることが予測されます。プリンセス・シャーロットの兄ジョージ王子にしても、ジョージ王子が生まれる前から有名な児童文学で「おサルスのジョージ」という絵本があり、親しまれています。この場合はおサルの方が先に生まれていたので、問題がなかったのでしょうか。いえ、ジョージという名前の王様は歴史上すでに何人もいますから、大丈夫だったのかもしれませんが。日本でも美智子様のご成婚なさった時には、女の子に同じ名前を付ける人が多かったと思いますが、これは敬い、あやかって、お名前をいただくという感覚だったでしょう。

イギリスではエリザベス女王の肖像が紙幣、切手に日常的に使われ、お顔にスタンプが押されて、手にもまれています。日本では記念のもの以外はないのではないのでしょうか。王室の方々は格好の風刺の対象でもあるイギリスでは、遠く日本の動物園での出来事で何か揺らぐということはないと思われます。わざわざ「お構いなく」とメッセージを出してくださったのは、日本への心遣いに思えます。

\* \* \*

### 診療所：安藤先生の後任は高木先生



安藤先生の後任として着任した高木健先生(一般診療・小児科)は、4歳から13歳までニューヨークで育った国際派だ。2008年からは3年ほど研究でテキサスやオハイオに住んだこともある。欧州での生活は初めてだが、あまり違和感は感じていない。ただ、ニューヨークはアメリカ人の街という感じだったが、ロンドンには移民の人たちが主役という

印象を持つ。

イギリスの食事はまずいと言われているが、ロンドンには世界中の人が集まり、あらゆる料理が食べられるので、ロンドンにいるうちに食の世界文化を大いに楽しもうと思っている。自身も料理が好きで、アメリカ育ちの影響か、肉料理が得意だそう。日本にいたときからアーセナルの大ファンで、是非競技場へ足を運びたいが、チケットが取りにくいのが難だとこぼす。

ロンドンには夫人と男児2人(8歳・5歳)を連れて赴任、自分の経験から子供には海外にいてもちゃんと日本語を習得して欲しいと願っている。専門は小児循環器だが、親戚のオジサンに話すように何でも気軽に相談してほしいと、いかにも子供好きのする顔で述べる。

## 日本クラブ理事の交代

- ◆クラブ施設委員会（正）：内田顕氏より一木浩人氏へ（ともに鹿島建設）
- ◆日英交流促進委員会（副）：榎沢良和氏より岩上浩幸氏へ（ともにJX日鉱日石エネルギー）

## 川村総領事の後任は宇山秀樹氏



日本クラブ理事を務めた川村公使兼総領事の転任に伴い、宇山秀樹氏（公使兼総領事）が着任しました。宇山氏は1962年生まれで88年外務省入省、ロシアの専門家で2010年在ロシア大使館館務（公使参事官）、12年より欧州局ロシア課長を務めた。

## 日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：☎ 07810-545023（西川）  
charles.nishikawa@btinternet.com  
随時入会受付中（申し込みはHPから）

## 日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例 会：毎週木曜日（11:30am 開始）
- ◆会 場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ  
(<http://ycbc.co.uk/>)
- ◆問い合わせ：reikoe@btinternet.com（榎枝）  
見学者歓迎

## 日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：paddigton1105@icloud.com  
（寺岡由紀子）

## 日本クラブ囲碁会

- ◆例 会：毎週土曜日（12:00～23:00）
- ◆会 場：Inn of Court Pub  
地下鉄 Chancery Lane Exit 3 より直進 2 分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）  
tanaka@gokichi.org.uk

## クラブサロンのご利用を！

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大寺院のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々のショップやレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な距離にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



地図はホームページ（[www.nipponclub.co.uk](http://www.nipponclub.co.uk)）の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

- \*建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。（会員証の提示を求められることもあります）
- \*閉館時間以外はシャッターが降りていて入場出来ません。

### ● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre  
5-11 Lavington Street  
Southwark, London SE1 0NZ

TEL：020-7921-9490, Email：jimukyoku@nipponclub.co.uk

月曜～金曜：午前10～午後9時（事務局は午後6時まで）

土曜：午前10時～午後4時（事務局は休日）

日曜・祭日は休館

## ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英語検定や漢字検定の実施
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 整った学習環境
- 英会話や英語活動
- 現地校との交流
- 通学バス利用可



入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

## ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- 小・中・学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置）



旅行保険で  
キャッシュレス

●日本クラブ 東京慈恵会医科大学からの派遣医師が常勤。 在英日本企業300社以上がサポート。

## NIPPON CLUB メディカルクリニック

当診療所は、ロンドンでも最新設備を誇るプライベート病院のHospital of St. John and St. Elizabeth（北診療所）とParkside Hospital（南診療所）内にあり、緊密な提携関係のもと同病院施設の利用・入院手続き等ができる上、必要があれば同病院をはじめ英国の専門医をご紹介します。

- 東京慈恵会医科大学海外派遣機関
- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断随時実施
- 婦人科検診随時実施



内科  
小児科  
一般診療

[www.nipponclub.co.uk/clinic](http://www.nipponclub.co.uk/clinic)

北診療所 020-7266-1121

南診療所 020-8971-8008